

令和元年 1 学期 終業式

令和元年1学期終了にあたり少し時間をいただきます。さて、去る6月に、日本で初めて、また、ここ大阪にてG20サミットが開催されました。そこでは国際経済を中心に海洋プラスチックゴミ問題やビッグデータ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ：すべての人が負担可能な費用で医療にアクセスできるシステムの構築などについて国境を越えて話し合われました。「美しき調和」が全世界に広がることを期待したいですね。グローバルな時代です。みなさんもそれぞれが話合われた内容について自分自身の考えをもっておいってください。答えは一つではありません。特に3年生は進路実現に向け大づめです。世の中の流れ、出来事、変化にアンテナを張るようにしてください。

さて、みなさん一学期を少し振り返ります。個々の生活において、志を立て、目標に向かう自分がありましたか？他人を攻めず、自分を攻め、自分に勝ちましたか？ 挨拶・思いやり・様々な学びはいかがでしたか、万全であった人は更に高みを目指してください。駄目であった人は（言い訳することなく）真摯に現実を受け止め改めるようにしてください。

それでは本日、現在社会は変革の時代でありますのでイノベーション（変革・刷新）の原理についてお話します。みなさんにイノベーターになってもらいたい期待もあります。前置きとして、勘やひらめき天才によるイノベーション・奇跡によるイノベーション・個人的には嫌いではないですけど今回はこれは少し置いておきます。一般的なイノベーションの原理についてお話します。1、目的意識を持つこと 2、体系的に分析して機会をうかがうこと、分析すべき内容は①予期せぬ事②現状とのギャップ③ニーズ④構造の変化⑤人口の変化⑥認識の変化⑦新知識の獲得などの項目について体系的に分析して機会をうかがうことが大切です。3、外に出て、五感で感じて、問う。理論的な分析と共に、知覚的な認識が必要です。右脳と左脳の両方を使うことが大切です。4、成功させるには焦点を絞り単純なものにすることが大切です。5、リスクをもとめて飛び出すイノベーターはいない。イノベーターはリスクを最小限にしなければなりません。そうでなければ成功はおぼつかない。ただし、リスクを恐れて、変化に対応せず、旧態依然に陥って、これまでの慣習を守ること、（イノベーションを行わない）方が未来を創造することよりも大きなリスクを伴います。以上、イノベーションの一般的な原理です。記憶にとどめておいってください。

さて、明日からの夏休み、個々にめざすものは異なりますが、失敗を恐れず果敢に挑戦し、有意義に過ごしてください。挨拶・思いやり・様々な学びを忘れないでください。同時に、無理のない範囲でイノベーターになることも期待します。終わりになりますが、みなさん「あなた達の」存在自体が周囲を幸せにしています。くれぐれも事故・怪我のないよう健康・安全管理をこころがけてください。そして、2・3年生は8月26日、1年生は8月30日に元気に登校してください。以上、1学期終業式の挨拶とします。